

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後 期 基 本 計 画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 安全な暮らしを確保する	平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨における教訓から、次いつ起こるかもわからない災害への備えとして、災害の予防対策や災害時の対策を行い、地域防災基盤を充実させることが求められています。 そのため、通信機器の防災行政無線の点検、防災関連のシステムを充実させる取組や、備蓄品の充足率を向上させることで地域防災力の向上を図っていきます。	・災害に強いまちづくりに向けて、平常時から市民へ情報提供を迅速確実に行えるよう防災行政無線や防災ラジオの整備を実施します。 ・地域の特徴に合わせ、降水量や風速等を把握するシステムを設置し、災害に備えます。 ・地域における防災体制を強化するため、必要な資機材の購入や防災備蓄品の充実を図ります。
	施策	1 防災		
	施策内容	地域防災基盤の充実		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市地域防災計画		
事務事業名	防災対策事業			

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
防災行政無線管理運用 （R7・8・9）	災害時の情報発信に備え、防災行政無線の適正管理を行い、難聴地域対策を継続します。	—	—		10,513 千円	千円
防災ラジオ運用 （R7・8・9）	屋外のみでなく、屋内でも災害時情報等を取得できるように防災ラジオの普及・啓発に努めます。	防災ラジオ配布済台数（台）	4,250	4,300	8,917 千円	千円
				4,350		
気象状況観測整備 （R7・8・9）	市独自で小型の気象観測計を設置し、出水期における災害対応において正確かつ迅速な情報の活用に努めます。	小型観測計設置台数（台）	2	3	740 千円	千円
				3		
県防システム更新 （R7）	災害時において、市内の被害状況を県・国に迅速に報告し、災害支援等を実施するためのシステムを更新します。	—	—	—	13,800 千円	千円
				—		
防災井戸整備 （R7・8・9）	事業所や各家庭で所有する井戸を災害時に生活用水として提供できるよう制度を構築します。	災害時協力井戸設置数（基）	30	30	300 千円	千円
				40		
避難所の生活環境改善 （R7）	避難所の環境改善のため、間仕切りパーティション等の備品を購入します。	パーティション購入数（基）	200	10	11,000 千円	千円
				10		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値
75 歳以上の高齢者への防災ラジオ配布割合（％）	100% （R9）	
防災情報周知媒体数（種類）	12 種類 （R9）	
防災井戸設置数（基）	100 基 （R9）	
パーティション充足率（％）	100% （R9）	

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			